

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

高齢化率が高く山坂も多いエリアですが、移動販売車の運行が始まり、徐々に買物支援の対策が進んできました。住民の健康意識が高く、自治会町内会、ボランティア活動に熱心な住民が多いのも特徴です。しかし、高齢化が進み活発であった活動を引き継いでくれる担い手を確保するのが難しい現状です。今後は、自治会・町内会を超えた見守りネットワーク、ボランティア活動、多世代交流の機会を増やし、住民同士が支え合う仕組みを整えると共に8050問題や多問題を抱える世帯へのアプローチが今後の重要項目だと感じます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| ☐ | ☒ | ・西金沢地域支え合いネットワーク、支え合い連絡会、民生委員連絡会、出張相談、サロン等、地域住民との交流の場を活用し、課題を抱えた世帯、個別ケースの吸い上げ、情報の共有を強化する。 |
| ☐ | ☒ | ・元気づくりST、介護予防自主グループの新規立ち上げを支援する。
・若い世代にも介護予防に関心を持つことができるような事業を開催する。 |
| ☐ | ☒ | ・だれでもカレーやポッチャ大会などエリアフリーで自治会・町内会を超えた交流の場を作るとともに、関係機関や専門職との連携強化を図る。 |
| ☐ | ☒ | ・見守りホルダーまもるくんの普及啓発の促進と、若い世代にも取り組みを普及し、地域全体での見守り体制の構築をめざす。 |
| ☒ | ☐ | ・ケアプラザのラウンジを利用した掲示板をつくり、地域住民が参加できる場とマッチングできる仕組みを作る。 |
| ☐ | ☒ | ・リモートを活用した事業展開や、インスタグラムなどのSNSを活用し、幅広い対象に事業の紹介やケアプラザの取り組みを知ってもらうように普及する。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・支え合い連絡会は2月にも開催予定で年間3回開催。民生委員連絡会も1月に開催し、今年度4回実施。その他地域の活動にも積極的に足を運び、地域で課題を抱える世帯の情報収集や支援に関しての情報共有が行えた。
・元気づくりST、介護予防自主グループの新規立ち上げはできなかったが、地域へ出向き体力測定を毎年継続して行い介護予防の意識付けが行えた。
・昨年度に引き続きだれでもカレーを開催。合わせてだれでもポッチャを開催し学生から高齢者まで自治会・町内会、年齢を超えた交流ができた。健康ブースを地域の老人保健施設の協力により行い、介護予防に関する意識を高められた。
・ケアプラザのラウンジを利用した掲示板をつくり、内部で運用の仕方など色々と検討したが、実際の利用までは至っていない。次年度以降に持ち越して実施予定。
・行政と連携し介護予防事業をリモートで開催。区役所まで足を運ぶのが難しい高齢者に向けてリモートでケアプラザで実施できた。
・昨年3月に区内に新しいケアプラザが開所となり、職員の入れ替えがあったので、今年は積極的に地域に足を運び地域との連携強化に努めた年となった。

☐ 区からのコメント

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い地域の各種活動も再開されましたが、ケアプラザから遠い地域にも積極的に向かかれ事業の周知や個別の相談に応じられました。また各地域の支援者・関係者が顔を合わせる機会として「支えあい連絡会」を開催され、コロナ禍で活動に悩む支援者の情報共有の場となりました。今後も各地域に向かかれ、支えあい連絡会等の場を通じて課題やニーズを把握し、ケアプラザが一体となり解決に向けた事業を展開していただきますようお願いいたします。
民生委員やケアマネジャー等との連携を密にし、支援の必要な世帯に対して丁寧な訪問をしながら関係機関に繋いでいただいています。また地域アセスメントに基づき、地域の特徴を踏まえた権利擁護業務や介護予防事業等が推進されています。今後も高齢化が進行する見込みであることから、多様な主体と共に見守り・助けあいのネットワークを構築いただきますようお願いいたします。